

嬉しかったこと

卒業して3年目になるA君のお母さんは通りでもどこかのお店でも私の姿を見ると「矢上先生、こんにちは」と挨拶をしてくれます。先週お会いしたときはこんなお話をしてくれました。「息子は、『サッカーは休まずにGAMBAすることが大事だよ』と教えられていたので、中学で卓球をやっても休まずにGAMBAすることができました。おかげで関東大会にも行けました」とのことでした。部活の帰りや朝練で早く登校するときのA君にも何度か会ったことがあります。小学生の時からそうでしたが、いつもしっかり挨拶をしてくれます。とってもさわやかな中学生です。そのA君が卓球でGAMBAり関東大会まで行ったこと本当に嬉しく思いました。受験もきつとGAMBAれると信じています。

09・10・11 (日)
南NEWS NO29

第15回はやぶさ杯少女サッカー大会

<10月4日(日) 小金井第二小学校>

千葉県チャンピオンを相手に決勝と戦いました。惜しくもあり、また価値のある準優勝でした。

<リーグ戦>

南八王子 対 はやぶさ 1-0 (前半0-0)

得点者 田中さん

最近、試合開始直後に守備が乱れて失点して、自滅する試合が多かったので、エース成井さんにはストッパーに入ってもらい、また片寄安さんは右サイドバックとしました。守備はもちろん安定しましたが、一方で攻撃でよい形が作れたのがうれしい誤算でもありました。それは4年生の漆間花さんや3年生の片寄優さんが大きい相手にひるまずに足を止めずに挑んでボールを奪い、攻め続けたことが大きいと思います。

小さい子のファイトあふれるプレーはきっと相手を驚かせたと思います。そして虎の子の1点は相手キーパーのミスを見逃さずに足を止めなかった田中さんのプレーから。ボールを奪い、そのまま無人のゴールに蹴り込んだものでした。

ファーストコントロールが課題の多かった選手が多い中で、FWの西條さんのプレーは光りました。後方からのボールを絶妙なファーストコントロールで簡単に前が向けます。柔らかいボールタッチはみんなもお手本にして欲しいと思います。

南八王子 対 北区さくらガールズ 0-0

試合と試合の間が空きすぎてしまったために、やっぱり心配したとおり、少し緊張の切れた試合になりました。日差しが強く、気温が高めということもあって運動量が少なく、ポコポコと簡単にボールを蹴ってしまいます。集中を欠いて大振りするため、危うく空振りという場面も見られました。このピンチを救ってくれたのがキーパーをやってくれた小杉鈴さん。危ない場面でもタイミングよく飛び出して、攻撃につなげるボールクリアを何度も何度も見せてくれました。

それ以外、とても誉められるような試合ではありませんでしたが、なんとかゴールを守りきり、1勝1分でAグループ1位となり、昨年に引き続き、決勝戦へ進むことになりました。

<決勝>

南八王子 対 市川 0-0 (PK 2-4)

さすがに決勝戦。試合前の円陣の掛け声に、いつも以上に気迫を感じました。大きい中盤が揃う相手を警戒して、成井さんをストッパー、田中さん、矢久保空さんをダブルボランチにして守備的に入りました。

しかし、この試合では3、4年生がGAMBAり、予想を遥に超えて攻撃できました。漆間花さん、片寄優さんに加え、初めてFWに入った気仙さんが走り続けてボールを奪い、また次々交代でFWに入った滝本さん、伊藤さん、東ヶ崎さんの前からの積極的なプレスが有効で高いボールポゼッション(支配率)のまま試合を続けることができたのです。攻め込まれる場面もありましたが、辻内栄さんの落ちついたディフェンスが光り、決定的場面を与えませんでした。

クロスバーに当たるフリーキックや田中さんからのコーナキックに合わせたヘッドなどセットプレーから成井さんの惜しいシュートもありましたが、お互い得点できずに昨年同様PK戦となってしまいました。まあ、PK負けは仕方ありませんね。

決勝の相手の市川FCは、一週間前に関東大会千葉県予選で優勝したチームだそうです。強豪相手に一步も引かずに、むしろ有利に試合を進めたことを大きな自信につなげて欲しいと思います。

最後に会場となった小金井二小の校庭には驚きました。昨年の夏に校庭全面が天然芝化された学校で、今年はどうなかなと思いましたが、短く刈られた青々とした芝のピッチはサッカーに最適な状態で、正直これだけ見事な芝の上でサッカーをしたことはありませんでした。めったにできない良い体験ができたと思います。

by 飛田コーチ

『いま、島で』灰谷健次郎 p149

…人間は生産から遠ざかれば遠ざかるほどダメになっていくというのが、わたしの持論だが、精神の躍動がひと対ひとの関係の中だけで生じ、ひとと自然のつながりの中ではそれが無い、または希薄だというのは確かに不幸だ。…

ささやかですが、南でも自然とのつながりを大切にしています。ジュニアユースの農業体験、高尾～城山～相模湖のハイキング、小学5・6年生の葉山とのホームステイ交流での磯遊び、高尾山日溜まりハイク等も自然とのふれあいです。

野菜嫌いの子も学校園で自分達が育てたほうれん草やダイコンはムシャムシャ食べるのです。自分が育てた物に対する愛着でしょうか。今、小比企の丘でも農地の遊休地が増えています。小学生にも農業体験をどうしようかなと考え中です。

